

応募要項

- 【期間】 2017年5月～2018年2月（10ヵ月間）／全16回講義／月2回・土曜日開催
- 【時間】 13：30～16：30（講義2時間+ディスカッション1時間）
- 【場所】 憲政記念館（東京都千代田区永田町1丁目1番地1号）
- 【定員】 約30名（通学）
- 【費用】
 - ◆一般 80,000円（分納可：40,000×2回）
 - ◆財団会員 70,000円（分納可：35,000×2回）
 - ◆再入塾 40,000円（分納可：20,000×2回）
 - ◆オンライン受講 30,000円 ※

※一度卒塾した人は、何度でも再入塾可能です。（費用：40,000円）
 ※オンライン受講（自宅等インターネット環境で講義視聴／レポート提出あり）は遠近および国内外を問わず、どなたでもお申し込み頂けます。
 ※オンライン受講生以外も、塾生はすべてオンライン視聴可能です。欠席した時や復習の際に便利です。

「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、5月5日（金）までに、尾崎財団までファックス（03-3581-1856）または メール添付（info@ozakiyukio.jp）でお送り下さい。

オンライン受講プログラムは、当財団の災害復興支援事業の一環としても開催されます。東日本大震災・熊本地震をはじめとする**甚災害指定地域出身もしくは在住の方は、協賛企業等の助成により受講費用を全額免除致します（ただし入塾式および卒塾式への参加に伴う交通費は、自己負担となります）。**免除対象の地域および免除資格の詳細については、財団事務局までお問い合わせください。

協賛企業等： ミクニ総業株式会社、大橋物産株式会社、株式会社ニフコ、タカラベルmont株式会社、公益財団法人原田積善会、特定非営利活動法人InterNational Press Syndicate(INPS)

財団（憲政記念館）地図



2017.3.11



一般財団法人 尾崎行雄記念財団
 リーダー育成プログラム

がくどうじゅく

「第19期 号堂塾」 入塾のご案内



「人生の本舞台は常に将来に在り」の言葉で知られる憲政の父、尾崎行雄。信念に裏打ちされた演説は、時の藩閥政治や軍閥政治を打破し、また現在の18歳選挙権につながる普通選挙運動の先駆けとなりました。その鋭い舌鋒は獅子吼（ししく）と呼ばれ、多くの有権者を魅了すると同時に叱咤激励し続けてきました。尾崎にとって支柱となったものは何か。生涯学び続けて練り上げた圧倒的な「言葉の力」、そして常に振れることのない「心の力」の二つが原動力でした。号堂塾は尾崎行雄の雅号・号堂（がくどう）を冠した、超党派による多彩な講師陣からの講義と塾生同士の相互研鑽によるリーダー育成プログラムです。

約10ヵ月間のカリキュラムでは、はじめに「皆さんが、何を成し遂げたいのか」個別に希望のテーマを設定していただきます。そしてその想いを、いかに実現するか。想いを言葉にし、行動に結びつけていくための方法論や実践アプローチを共に学び、深めて参ります。講義は毎回、憲政記念館（永田町1丁目1番地1号）にて行います。国会議事堂と国会図書館に面した「日本の政治の中心地」で共に学ぶことのできる機会へのご参加を、スタッフ一同、心よりお待ちしております。



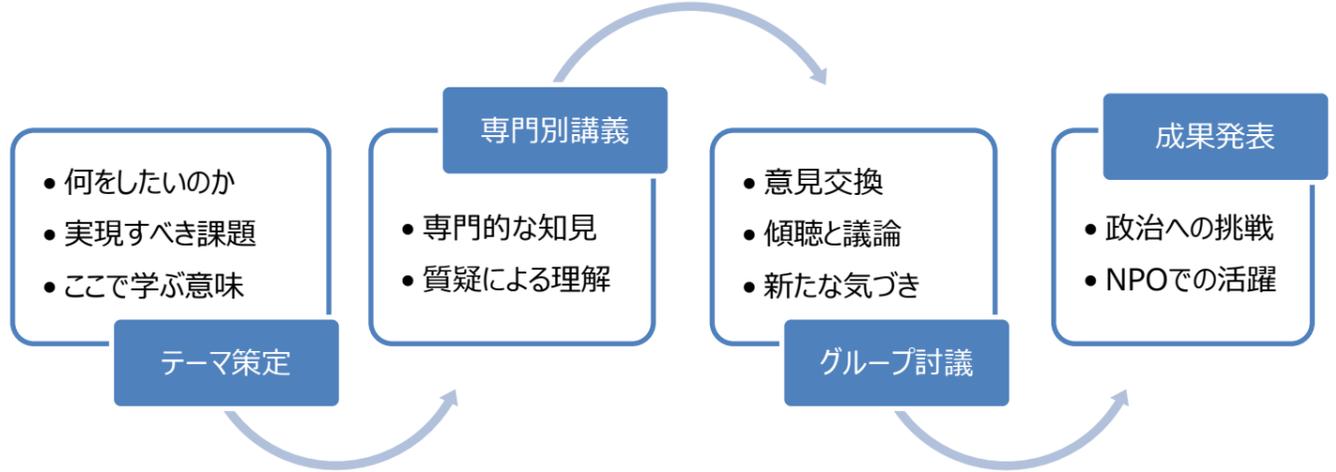
〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-1-1 憲政記念館内
 TEL:03-3581-1778（受付時間 10:00～17:00）
 FAX:03-3581-1856
 E-mail:info@ozakiyukio.jp

交通アクセス

地下鉄	丸の内線・千代田線	国会議事堂前駅下車
	有楽町線・半蔵門線・南北線	永田町駅下車
バス	都営バス	国会議事堂前下車

全16回・48時間。学びの暁には、必ず「何かが生まれる」。

峯堂塾での学びは全16回。毎月2回、各界の専門分野で活躍する講師の授業（2時間）と、塾生同士のディスカッション(1時間)を繰り返して進められます。峯堂・尾崎行雄が生涯でもっとも大事にした批判的精神「誰が正しいかではなく、何が正しいか」を感じながら、個々に策定したテーマに向かって頂きます。



演説の聖地・憲政記念館での「卒塾演説会」

尾崎行雄の理念を土台として1960年（昭和35年）に建設された尾崎記念会館（現在の憲政記念館）。峯堂塾の卒塾式では、永田町1丁目1番地1号・憲政記念館で大いに熱弁をふるって頂きます。入塾時に定めたテーマを、毎回の講義とディスカッションを通じて練り上げ、削ぎ澄まし、存分に語ってください。本気の想いを、それぞれの本舞台で語る。国会議事堂に面した政治の中心地での演説会は、尾崎行雄と塾生の皆さんが一体化する、峯堂塾ならではのプログラムです。



（第18期峯堂塾・卒塾演説会より）

登壇者に与えられる、学びの証。「卒塾演説DVD」

卒塾式の演説会では、技術スタッフが弁士一人ひとりの熱弁を収録。学びの証としてDVDを制作いたします。10か月の成果が、世の中でたったひとつの記録として手元に残る。他の政治塾では手にすることのできない貴重な記録になります。収録および制作は卒塾演説会の登壇者に限られますので、あらかじめご了承ください。通学・オンライン受講にかかわらず、すべての塾生が登壇いただけます。



（第18期生・卒塾DVD。この世にたった一枚の、貴重な記録）

学びを支える、多彩な講師陣（順不同、2017年3月現在）

各界の第一線で活躍する講師陣を招いての講義は、講師と塾生の「真剣勝負」です。国政や地方自治のあり方、また議会での争点となる様々な社会問題などを広範囲に学んで頂きます。また、17期からは政治家や地域リーダー、どちらの立場でも必要不可欠な「本物の発信力」を磨くためのプログラムも強化。各分野における発信・表現のプロフェッショナルが皆様の学びを支えます。



- | | | |
|----------------------|--------|------------------------|
| 「尾崎行雄と相馬雪香-その信念と生き方」 | 石田 尊昭 | （尾崎行雄記念財団理事・事務局長） |
| 「明治天皇の詔勅から地方自治を考える」 | 荒谷 卓 | （明治神宮武道場至誠館館長） |
| 「環境問題と日本のエネルギー政策」 | 飯田 哲也 | （環境エネルギー政策研究所所長） |
| 「世界と日本経済の行方」 | 池田 信夫 | （アグラ研究所所長/エコノミスト） |
| 「日本語は国の防波堤」 | 井沢 満 | （脚本家） |
| 「激動する世界情勢と日本の役割」 | 伊勢崎 賢治 | （東京外大教授/日本紛争予防センター理事） |
| 「日本政治の課題と展望」 | 猪口 邦子 | （参議院議員/元・国連軍縮会議日本大使） |
| 「世界の平和をフィクションで語るなかれ」 | 小川 和久 | （軍事アナリスト/静岡県立大学特任教授） |
| 「日本のメディア問題」 | 神保 哲生 | （ビデオジャーナリスト/早大院客員教授） |
| 「地方政治と日本の未来」 | 北川 正恭 | （元三重県知事/早稲田大学名誉教授） |
| 「政治と人間学～論語と佐藤一斎～」 | 長峯 基 | （元参議院議員/長峯学園さくら幼稚園理事長） |
| 「少子高齢社会の現状と展望」 | 樋口 恵子 | （NPO高齢社会をよくする女性の会代表） |
| 「信頼を勝ち取る演説の技術」 | 矢野 香 | （正統派スピーチコンサルタント） 他 |

※ この他にも「政治とインターネット（ネットポリティクス）の最前線」「シチズンシップと政治」など、政治家にも有権者にも必須のカリキュラムを予定しています。詳細は財団ホームページでもお知らせします。また上記のテーマ・講師陣は要請予定を含んでおり、変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「学んであなたは、何をするの。」相馬雪香からの問いかけ

初代塾長の相馬雪香が、塾生の一人ひとりに贈り続けてきた言葉があります。「**学んであなたは、何をするの。**」峯堂塾の卒塾生として新たな一步を踏み出してからが本当の始まり。そしてあなたにとっての「**人生の本舞台**」です。また峯堂塾は、一度学んだだけの単なる通過点ではありません。何度でも入り直し、自らの志に磨きをかけていく。これまでも数多くの卒塾生が繰り返し学び、みずから為し遂げたいことに向かい合っています。塾での学びを、いかに役立てるか。そうした方法論の構築や実践への取り組みも、運営スタッフがサポートします。